

JAID/JSC 感染症治療ガイド 2014

正誤表

記載に誤りがありましたので、下記のように追加・訂正させていただきます。

2016 年 9 月

JAID/JSC 感染症治療ガイド・ガイドライン作成委員会

P106「Ⅶ呼吸器感染症, A-2 院内肺炎 3 Definitive Therapy *P. aeruginosa* 多剤耐性の場合」

誤
CL : 5mg/kg ・ 1 回ローディング、その 24 時間後に以下の維持用量を開始する
正
CL : 5mg/kg ・ 1 回ローディング、その 24 時間後に以下の維持投与を開始する

以下は「第 1 版 (第 4 刷)」(2016 年 9 月 16 日発行)以降では修正済

P43「Ⅲ 細菌性髄膜炎 D 院内発症髄膜炎-1 Empiric Therapy-推奨される治療薬」

誤
β-ラクタム系薬—第一選択 DRPM 静注または点滴静注, 1 回 40mg/kg ・ 1 日 3 回 (最大 3g/日)
正
β-ラクタム系薬—第一選択 DRPM 点滴静注, 1 回 40mg/kg ・ 1 日 3 回 (最大 3g/日)

P197「X 皮膚軟部組織感染症—O ガス壊疽-1 Empiric Therapy-推奨される治療薬」

誤
第一選択 DRPM 点滴静注 1 回 1g ・ 1 日 3 回 ・ 診断確定まで (添付文書最大 1.5g/日)
正
第一選択 DRPM 点滴静注 1 回 1g ・ 1 日 3 回 ・ 診断確定まで (添付文書最大 3g/日)

P204「Ⅺ 尿路感染症 A-1 急性単純性膀胱炎 (閉経前) -Empiric Therapy-推奨される治療薬」

誤
第一選択 TFLX 経口 1 回 300mg ・ 1 日 2 回 ・ 3 日間 ¹⁾
正
第一選択 TFLX 経口 1 回 150mg ・ 1 日 2 回 ・ 3 日間 ¹⁾

P206 「XI 尿路感染症 A-4 複雑性膀胱炎（カテーテル非留置症例） Empiric Therapy-推奨される治療薬」

誤
第一選択 TFLX 経口 1回 <u>300mg</u> ・ 1日 <u>2回</u> ・ 7～14日間
正
第一選択 TFLX 経口 1回 <u>150mg</u> ・ 1日 <u>3回</u> ・ 7～14日間

P207 「XI 尿路感染症 B-1 急性単純性腎盂腎炎（思春期～閉経期の女性） Empiric Therapy-推奨される治療薬-軽症・中等症の病態」

誤
第一選択 TFLX 経口 1回 <u>300mg</u> ・ 1日 <u>2回</u> ・ 7～14日間 ²⁾
正
第一選択 TFLX 経口 1回 <u>150mg</u> ・ 1日 <u>3回</u> ・ 7～14日間 ²⁾

P210 「XI 尿路感染症 B-4 複雑性腎盂腎炎（カテーテル非留置症例） Empiric Therapy-推奨される治療薬 軽症・中等症の場合」

誤
第一選択 TFLX 経口 1回 <u>300mg</u> ・ 1日 <u>2回</u> ・ 7～14日間 ²⁾
正
第一選択 TFLX 経口 1回 <u>150mg</u> ・ 1日 <u>3回</u> ・ 7～14日間 ²⁾

P218 「XI 尿路感染症 G-1 小児の上部尿路感染症- 推奨される治療薬-乳児期以降-2 Definitive Therapy 」

誤
ST 合剤経口 1回 <u>5mg (TMP として)</u> /kg ・ 1日 2回（生後 2 か月未満は禁忌）
正
ST 合剤経口 1回 <u>(TMP として) 4～6mg/kg</u> ・ 1日 2回（生後 2 か月未満は禁忌）

P219 「XI 尿路感染症 G-1 小児の上部尿路感染症-VUR を有する患者 」

誤
ST 合剤経口 1回 <u>0.01～0.025g/kg</u> ・ 1日 1回（就寝時）
正
ST 合剤経口 1回 <u>(TMP として) 2mg/kg</u> ・ 1日 1回（就寝時）

P219 「XI 尿路感染症 G-2 小児の下部尿路感染症-Empiric Therapy-推奨される治療薬」

誤
ST 合剤経口 1回 <u>50mg/kg (TMP として 10mg/kg)</u> ・ 1日 2回
正
ST 合剤経口 1回 <u>(TMP として) 4~6mg/kg</u> ・ 1日 2回 (生後 2 か月未満は禁忌)

P226 「XII 性器感染症, B-1-2 骨盤内炎症性疾患の治療 2 Definitive Therapy 骨盤内放線菌症の場合」

誤
PCG 点滴静注 1回 <u>1,000~2,000 万単位</u> ・ 1日 4回 ・ 4~6 週間
正
PCG 点滴静注 1回 <u>300 万~500 万単位</u> ・ 1日 4回 ・ 4~6 週間 その後 AMPC 経口 1回 <u>500mg</u> ・ 1日 3回 ・ 3~6 か月間

P249 「XIV 眼感染症 E 細菌性角膜炎-推奨される治療薬-塗抹・検鏡ができない場合-全身投与-小児」

誤
DRPM 点滴静注 1回 <u>20mg</u> ・ 1日 3回
正
DRPM 点滴静注 1回 <u>20mg/kg</u> ・ 1日 3回

P249 「XIV 眼感染症 E 細菌性角膜炎-推奨される治療薬-塗抹・検鏡 (グラム染色) 像がある場合-全身投与-小児」

誤
DRPM 点滴静注 1回 <u>20mg</u> ・ 1日 3回
正
DRPM 点滴静注 1回 <u>20mg/kg</u> ・ 1日 3回

P272 「XI 歯性感染症 1 群：歯周組織炎，2 群：歯冠周囲炎-第二選択」

「小児でペニシリンアレルギーのある場合」の上に以下を追加
成人でペニシリンアレルギーのある場合
●CLDM 経口 1回 150mg ・ 1日 4回 ・ 3~7 日間
●AZM 経口 1回 500mg ・ 1日 1回 ・ 3 日間
●AZM 経口 1回 2g ・ 1日 1回
●CAM 経口 1回 200mg ・ 1日 2回 ・ 3~7 日間

P273 「XI 歯性感染症 3 群：顎炎 (開口障害，嚥下困難を伴う重症例)，4 群：蜂巣炎」
-第一選択

誤
CTRX 点滴静注 1回 <u>0.5~1g</u> ・ 1日 1~2回 (1~2 g/日)
正
CTRX 点滴静注 1回 <u>1~2g</u> ・ 1日 1~2回 (1~2 g/日)

P273 「XI 歯性感染症 3 群：顎炎（開口障害，嚥下困難を伴う重症例），4 群：蜂巣炎」
 -重症例および第二選択

誤
MEPM 点滴静注 1 回 <u>0.25～0.5 g・1 日 2～3 回</u> ・30 分以上かけて <u>重症・難治例では 1 回 1 g を上限として 1 日 3 g まで増量可</u> （小児：点滴静注 <u>1 回 20 mg/kg・1 日 3 回</u> ，重症・難治例には <u>1 日 120 mg/kg まで増量可</u> ）
正
MEPM 点滴静注 1 回 <u>0.5～1 g・1 日 3 回</u> ・30 分以上かけて （小児：点滴静注 <u>1 回 20～40mg/kg・1 日 3 回</u> ・30 分以上かけて， <u>1 日用量が 3g を超えないこと</u> ）

P273 「XI 歯性感染症 3 群：顎炎（開口障害，嚥下困難を伴う重症例），4 群：蜂巣炎」
 -重症例および第二選択

誤
DRPM 点滴静注 <u>1 回 0.25 g・1 日 2～3 回</u> ・30 分以上かけて <u>重症・難治例には 1 回 0.5 g を 1 日 3 回投与し，増量が必要と判断される場合にかぎり 1 回量として 1 g，1 日量として 3 g まで投与可</u> （小児：点滴静注 <u>1 回 20 mg/kg・1 日 3 回</u> ，重症・難治例には <u>1 回 40mg/kg まで増量可，最大 1 回 1 g まで</u> ）
正
DRPM 点滴静注 <u>1 回 0.5～1 g・1 日 3 回</u> ・30 分以上かけて， <u>投与量の上限は 1 回 1 g までとする</u> （小児：点滴静注 <u>1 回 20～40mg/kg・1 日 3 回</u> ・30 分以上かけて， <u>投与量の上限は 1 回 1 g までとする</u> ）

P274 「XVI 腸管管感染症 A 成人の細菌性腸炎 A-1 市中感染」 1 Empiric Therapy

誤
CPFX 経口 <u>1 回 500mg・1 日 2 回^{注)}</u>
正
CPFX 経口 <u>600mg/日・1～2 回分割</u>

P274, p276 の「注：日本感染性腸炎学会では，国内における保険適用量の上限である CPFX 経口 600 mg/日・1～2 回分割投与を推奨としている。」を削除。

P275 「XVI 腸管管感染症 A 成人の細菌性腸炎 A-1 市中感染」
 2 Definitive Therapy *Salmonella*（適応例のみ）

誤
CPFX 経口 <u>1 回 500mg・1 日 2 回</u> ・3～7 日間 ^{注)}
正
CPFX 経口 <u>600mg/日・1～2 回分割</u> ・3～7 日間

P275 「XVI 腸管管感染症 A 成人の細菌性腸炎 A-1 市中感染」

2 Definitive Therapy *Salmonella* (適応例のみ)

誤
CPFX 点滴静注 1回 <u>400mg</u> ・ 1日 2回 (12時間ごと) ・ 3～7日間
正
CPFX 点滴静注 1回 <u>300mg</u> ・ 1日 2回 (12時間ごと) ・ 3～7日間

P275 「XVI 腸管管感染症 A 成人の細菌性腸炎 A-1 市中感染」 2 Definitive Therapy

Vibrio / Plesiomonas / Aeromonas / Yersinia (重症例)

誤
CPFX 経口 <u>1回 500mg ・ 1日 2回</u> ・ 3～5日間
正
CPFX 経口 <u>600mg/日 ・ 1～2回分割</u> ・ 3～5日間

P275 「XVI 腸管管感染症 A 成人の細菌性腸炎 A-1 市中感染」

2 Definitive Therapy, *Shigella*

誤
CPFX 経口 <u>1回 500mg ・ 1日 2回</u> ・ 3～5日間
正
CPFX 経口 <u>600mg/日 ・ 1～2回分割</u> ・ 3～5日間

P276 「XVI 腸管管感染症 A 成人の細菌性腸炎 A-1 市中感染」

2 Definitive Therapy, *Vibrio cholerae*

誤
CPFX 経口 <u>1回 500mg ・ 1日 2回</u> ・ 3日間 ^{注)}
正
CPFX 経口 <u>600mg/日 ・ 1～2回分割</u> ・ 3日間

P312 「XVII 耐性菌, ブレイクポイント, PK-PD-表 XVII-10 腎機能別の抗菌薬投与量の目安」

誤
AMPC 血液透析 (HD) 1回 <u>1～2g</u> ・ 1日 <u>1～2回</u> HD日はHD後
正
AMPC 血液透析 (HD) 1回 <u>250mg</u> ・ 1日 <u>1回</u> HD日はHD後